

# 真駒内まちづくり通信

第26号 | 令和8年1月 |



## 真駒内駅前地区景観デザインガイドライン作成中！

新たな真駒内駅前地区の景観形成に向けて「真駒内駅前地区景観デザインガイドライン」の作成を進めています。作成にあたっては、ワークショップ（景観ミーティング）やパネル展示を通じて地域のみなさまから貴重なご意見を伺いながら検討しています。今回は、これまでに開催したワークショップとパネル展の概要、いただいたご意見の一部や今後の流れについてご報告します。

## そもそも景観デザインガイドラインってなに？

令和5年11月に策定した「真駒内駅前地区まちづくり計画」では、真駒内地域らしい魅力ある都市空間の形成のため、「みどり・景観形成」の考え方を示しています。

この考え方を実現するために施設計画で配慮すべきポイントや手法例をわかりやすくまとめたものが「真駒内駅前地区景観デザインガイドライン」です。景観デザインガイドラインで示すポイントについては、今後、公募型プロポーザルが予定されている駅前の民間開発の拠りどころとし、また、（仮称）南区複合庁舎においても準拠した施設整備計画とする予定です。



景観に係る取組はこちから

[https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kouhai/makomanai/r7/r7\\_keikan.html](https://www.city.sapporo.jp/keikaku/kouhai/makomanai/r7/r7_keikan.html)

## 第1回景観ミーティング

日時：8月23日(土) 13時30分～15時30分  
場所：南区民センター 参加人数：47名

はじめに真駒内駅前地区まちづくり計画と景観デザインガイドラインの概要についての説明を行い、「真駒内駅前地区で大切にしたい景観は～今の景観／未来の景観～」というテーマで意見交換を行いました。



### 大切にしたい現在の景観



- 駅前の開放感が良い。
- エド温・ダン記念公園や用水路、樹木など、歴史やみどりを生かした景観。

### こうなってほしい未来の景観

- 圧迫感のない建物にするなど、駅前通りから桜山や柏丘へのきれいな眺望が守られると良い。
- にぎわいのある空間になると良い。

幅広い年齢層のみなさまからたくさんのご意見をいただき、活発な意見交換ができました！



詳細はこちから

## 第2回景観ミーティング

日時：10月25日(土) 13時30分～15時30分  
場所：南区民センター 参加人数：32名

第1回景観ミーティングの振り返りと「景観配慮のポイントと手法例(案)」の説明を行い、内容について意見交換を行いました。

### 景観配慮のポイントや手法例へのご意見

- 建物の壁面後退やセットバックによる見通し確保は大切。
- 壁面後退したところに滞留空間を創出する。
- 既存の樹木を活かす。
- 冬季の活用もイメージする。



景観配慮のポイントと手法例の良い点や追加してほしい内容など、たくさんのご意見をいただきました！



詳細はこちから

## パネル展示

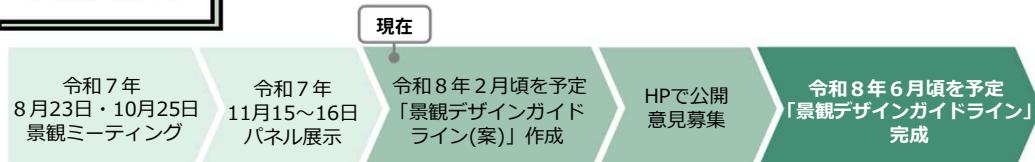
開催日時：11月15日(土)～16日(日)  
場所：南区民センター 1階ロビー



景観ミーティングにお越しいただけなかった方からも広くご意見をいただくため、景観配慮のポイントと手法例(案)についてパネル展示を行いました。

- 現状のみどりを生かした自然を感じさせるデザインが良い。
- 滞留空間ににぎわいが生まれそうで良い。

## 今後の流れ



いただいたご意見については、景観に関する内容は景観デザインガイドラインへの反映を検討し、その他の内容については各担当部局へ情報を共有させていただきます。今後の流れとして、令和8年2月頃に「真駒内駅前地区景観デザインガイドライン(案)」を作成し、札幌市の公式ホームページで公開し、みなさまからのご意見を募集します。その後、令和8年6月頃の策定を予定しています。

# まこフェス2025を開催しました！

令和7年9月15日（月・祝）、「まこフェス2025」を開催しました。当日は好天に恵まれ、温かいにぎわいに包まれました。「まこフェス2024」で育まれたつながりと経験を活かして、今回は内容がパワーアップ。会場を広げ、まこまる（旧真駒内緑小学校跡）と真駒内駅前広場（時計塔周辺）、そして真駒内中学校東側の市道を歩行者天国として3会場で実施しました。まこまる会場では、多彩なコンテンツと共に、子どもの体験活動の場「Coミドリ」協力のもと、プレーパークも特別開催され、さまざまな世代が楽しめるイベントとなりました。

開催日：令和7年9月15日（月・祝）

時間：10:00～16:00

会場：①まこまる（旧真駒内緑小学校跡）

②真駒内駅前広場（時計塔周辺）

③真駒内中学校東側の市道（歩行者天国）

主催：まこフェスプロジェクトミーティング・札幌市

開催協力：子どもの体験活動の場 Coミドリ・札幌市南区

一般社団法人真駒内エリアマネジメントコア（駅前広場運営）

## まこフェス2025はプロジェクトミーティングメンバーが企画

・運営を行いました。



「まこフェス2025」は、プロジェクトメンバーが実施主体となり開催しました。「南区・真駒内を盛り上げたい」「エリアマネジメントに関心がある」という意欲のある方々を募り、コンテンツごとにチームを結成。半年間に及ぶ「プロジェクトミーティング」を通じて、参加者がそれぞれのアイデアを持ち寄り、企画から広報や運営まで主体的に実践しました。

## 真駒内駅前地区のエリアマネジメントについて

まこフェスプロジェクトは、令和5年11月に策定した「真駒内駅前地区まちづくり計画」に基づき、将来、真駒内駅前に整備される交流広場の活用等を見据え、地域主体のまちづくり（エリアマネジメント）の機運醸成や地域のつながりの形成を目的に実施しています。

まこフェスを通じて生まれたつながりを絶やさず、地域主体のまちづくりを行うため、持続的なまちづくり活動の基盤として、地域住民等が中心となり、一般社団法人真駒内エリアマネジメントコア（通称：MAC）が令和7年9月に設立されました。まこフェス2025においても、真駒内駅前広場会場の運営は、MACの協力のもとを行うことができました。



## 真駒内の歴史に光を当てる エドウィン・ダンプロジェクトの活動が始まりました

令和8年（2026年）は、エドウィン・ダンが真駒内に開拓使牧牛場（後の種畜場）を創設してから150年の節目の年になります。そこで、まこフェスプロジェクトから継続して地域活動を行いたい、地域を盛り上げたいという有志のメンバーが、地域の歴史に光を当てる活動を始めました。

活動の詳細については、Instagramをご確認ください。  
(ユーザー名:edproject.150th)



【活動の紹介】  
日 に ち：令和8年1月31日（土）  
場 所：エドウィン・ダン記念館  
時 間：14:00～ スノーキャンドル作り  
15:00～ キャンドル点灯開始  
(同時開催) そとまこプレーパーク@エド  
ウイン・ダン記念公園（14:00～17:30）

エドウィン・ダン  
プロジェクト  
Instagram



# まこフェス2025 コンテンツ一覧

## 音楽イベント「まこフェスFES」

体育館では、地域の音楽グループによる合唱や楽器演奏、真駒内中学校吹奏楽部の演奏が披露されました。「エルム楽器エレクトーンオンステージ」では華やかな音色が響き、演者と会場が一体となって音楽を楽しみました。



## モルック体験／パン食い競争

天気の良いグラウンドでは、子供も大人も一緒に楽しめる「モルック体験」と、真駒内のパン屋に協力いただき、小学生対象の「パン食い競争」を行いました。揺れるパンを必死に追いかける子供たちの姿に、会場からは「がんばれ！」と温かい声援が送されました。



## ワークショップ／模型展示

アートに触れる「つくる」体験が行われました。南区ゆかりのラベンダーを使ったミニブーケ作りや、電熱ペンで木に絵を描くウッドバーニング、英字新聞を使ったギフト作りなど、子供から大人まで集中して作業に取り組んでいました。

また、同じ会場では真駒内駅前の模型を見ながらこれまでの街について語り合いました。



## 焚き火体験コーナー

「焚き火体験コーナー」は、癒やしの空間となりました。薪割りに挑戦し、その薪をくべて火を育てる貴重な体験を実施。パチパチと燃える炎で焼いたスモアを食べながら、炎を囲んで語り合う、スローなひとときを楽しみました。



## まち歩き「まこまなび」

真駒内をテーマにした謎解きとまち歩きをかけ合わせた「まこまなび」が実施されました。参加者はLINEのヒントを頼りに、エドウィン・ダン記念館など真駒内地域を散策しながら謎解きに挑戦。街を巡る中で、普段何気なく通る地域の知られざる歴史や魅力を再発見し、楽しみながら真駒内を深く知る機会となりました。



## キッチンカー

南区内の飲食店を中心に様々なキッチンカーが集まり、焼き鳥、カレー、やきそばやスイーツなど幅広いメニューが並びました。天気も良く、青空の下、家族や友人と美味しい料理を囲んで、ゆったりと過ごす姿が見られました。



## 真駒内駅前広場／歩行者天国

駅前広場ではミニマルシェやカフェ、音楽を楽しむ人々で憩いの場に。また、歩行者天国では、子供達が遊べるチョークや玉入れが設置されました。開放感あふれる二つの会場は、明るい声で包まれました。

SAPP\_RO

発行者 札幌市 まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
電話：(011) 211-2545 FAX：(011) 218-5113



真駒内の  
これまでの  
まちづくり

さっぽろ市  
02-B03-25-2532  
R7-2-1669